

平成 30 年度化学技術賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象、推薦資格者、推薦可能件数

表彰規程および化学技術賞等選考委員会規則により、次のとおり定められている。

- (1) 賞の対象：本会会員に限らず、わが国の化学工業の技術に関してとくに顕著な業績のあった者に授与する。個人を対象とするが同一化学技術の業績について5名以内の連名で受賞することができる。また、同一人が異なった化学技術の業績について重ねて受賞することができる。
- (2) 推薦資格者：本会役員、支部役員、元(前)会長、会誌編集委員長、法人正会員、化学関連学協会会長、化学工業関係工業会会長、各部長、各ディビジョン主査、本部推薦委員会(産学交流委員会)委員長。
- (3) 推薦可能件数：本会役員、支部役員、元(前)会長、会誌編集委員長、法人正会員、各部長、各ディビジョン主査は1件以内、化学関連学協会会長、化学工業関係工業会会長は2件以内、本部推薦委員会委員長は若干数。

2. 提出書類 (返却しない)

- (1) 候補者推薦書：オリジナル1部
- (2) 候補者推薦書：コピー50部 (両面コピー)
- (3) 参考資料：3部 (候補者推薦書の8. 参考資料リスト中から選んだ10点以内のもの)

3. 業績説明 (下記6. 参照)

第2回選考委員会において、候補者本人が業績説明を行う (15分程度)。なお、業績説明のための旅費、交通費は本会から支払わない。

4. 書類執筆上の注意

- (1) 清書は、ワープロ印書 (40字×40行) とすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 候補者所属機関長の推薦受諾は各候補者の所属機関ごとに得ること。
- (4) 候補者が連名の場合は、候補者の業績分担欄に候補技術に対する本人の分担 (例えば、研究指導、開発指導、研究担当、開発担当、研究協力、開発協力など) を記入すること。
- (5) 推薦書の各項目は、所定の枚数以内に下記の順序で記述し、通し番号をふること。
 1. 推薦の理由－1頁
 2. 技術開発の背景、動機、目的など－1頁
 3. 技術内容の概要 (原理、反応、構造、機能、システムなど) －3頁
(必要ならば図、表、写真等を別に添付すること。)
 4. 技術開発の経過 (時系列的に記述) －2頁
 5. 技術の特色、独創的な点、将来への影響など－2頁
 6. 生産実績 (最近3年間の生産額、数量、金額、市場占有率など) －1頁
 7. 本技術と関連があると思われる他社 (国内、国外) 技術の概要、ならびに本技術との相違点－2頁
 8. 参考資料リスト (特許、学会論文、総説、解説、カタログ、製品見本など) 制限なし
(この内で最も主要と思われるもの10点以内を選び、コピー3部を添付し、上記3、4、5の項目のいずれに関連するか注記すること。)

5. 推薦書提出締切日および提出先

締切日：平成30年8月31日 (金) [必着]

提出先：〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

公益社団法人 日本化学会 総務部 化学技術賞係

6. 平成30年度選考委員会開催日

- (1) 書類選考 [郵便] (第一次選考) 平成30年10月中旬
- (2) 第2回選考委員会 (業績説明会・最終選考) 平成30年11月13日 (火)

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持いたします。
なお、受賞者の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

以上

化学技術賞審査申合せ事項

(平成11年度から公開)

公益社団法人 日本化学会

- (1) 化学技術賞は主としてわが国で開発された化学工業技術のうち、その創造性と成果が特に顕著なものに対して授与する。
- (2) 選考委員会は推薦された業績の中から選考するものであって、日本国内の化学技術上の業績全部の中から最優秀のものを選考する責任はない。
- (3) 食品、医農薬、印刷、電気のように、化学工業技術が基本技術の一部を形成する工業技術については、その業績に関し特に化学工業技術に重点をおいて審査するものとする。
- (4) 他賞との関連について
この賞を権威あるものとし、かつ受賞者の榮譽をたたえる意味から、他からの受賞の有無は考慮に入れない。
- (5) 選考の基準
 - イ) 事業が経済的に成立しており、近い将来も成立して行く見込のあるもの、継続性のあるものを採る。
 - ロ) 技術上の業績としては部分的ではあるが、それによりその工業全体としての進展に顕著な影響があったものは採る。
 - ハ) 推薦された候補技術と同種技術があっても、独立して研究し事業を成立させたもので、明らかに他より優秀と認められるものは採る。
 - ニ) 未だ工業化されていないものは業績が未完成と見做して採らない。
 - ホ) 事業の経営という点だけでは採らない。
 - ヘ) 製品の实用価値が明らかでないものは採らない。
- (6) 補則
選定報告書の執筆にあたっては特定商品名は入れない。

以 上

注) 推薦書は毎年更新していますので、平成30年度のものを使用してください。

整理 No.

化学技術賞候補者推薦書

年 月 日

日本化学会会長 殿

下記の者を化学技術賞候補者として推薦します

| | | | | | |
|-----------------------|--------|-------------------------|------|--------|------|
| 候 | 候補者氏名 | (ふりがな) (日本語) (英語) | 会員別 | 会員 No. | ・非会員 |
| | 最終学歴 | | 業績分担 | | |
| | 勤務先と職名 | (日本語) (英語) | 学 位 | | 博 士 |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX | e-mail | |
| | 候補者氏名 | (ふりがな) (日本語) (英語) | 会員別 | 会員 No. | ・非会員 |
| 補 | 最終学歴 | | 業績分担 | | |
| | 勤務先と職名 | (日本語) (英語) | 学 位 | | 博 士 |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX | e-mail | |
| | 候補者氏名 | (ふりがな) (日本語) (英語) | 会員別 | 会員 No. | ・非会員 |
| | 最終学歴 | | 業績分担 | | |
| 者 (連名の場合 は5名以内) | 勤務先と職名 | (日本語) (英語) | 学 位 | | 博 士 |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX | e-mail | |
| | 候補者氏名 | (ふりがな) (日本語) (英語) | 会員別 | 会員 No. | ・非会員 |
| | 最終学歴 | | 業績分担 | | |
| | 勤務先と職名 | (日本語) (英語) | 学 位 | | 博 士 |
| 題 目 | 同所在地 | 〒 電話 | FAX | e-mail | |
| | 候補者氏名 | (ふりがな) (日本語) (英語) | 会員別 | 会員 No. | ・非会員 |
| | 最終学歴 | | 業績分担 | | |
| | 勤務先と職名 | (日本語) (英語) | 学 位 | | 博 士 |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX | e-mail | |
| 和 文 | | | | | |
| | | | | | |
| 英 文 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | |
|---------------|--------------|---------|---------------|
| 推薦者 | 氏名 | 印 | |
| | 勤務先と職名 | | |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX |
| | 推薦資格 | | |
| 候補者所属機関長の推薦受諾 | 所属機関の名称と代表者名 | 印 | |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX |
| | 所属機関の名称と代表者名 | 印 | |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX |
| | 所属機関の名称と代表者名 | 印 | |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX |
| 候補技術の受賞歴 | | | |
| 候補者の受賞歴 | | | |
| 本件の連絡先 | 氏名 | | 会員No. (会員の場合) |
| | 勤務先と職名 | | |
| | 同所在地 | 〒 電話 | FAX e-mail |

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

1. 推薦の理由

40×40=1,600

2. 技術開発の背景、動機、目的など

3. 技術内容の概要（原理、反応、構造、機能、システムなど）必要ならば図、表、写真等を別に添付すること。

—つづき—

40×40=1,600

—つづき—

4. 技術開発の経過 (時系列的に記述)

—つづき—

40×40=1,600

5. 技術の特色、独自の点、将来への影響など

—つづき—

6. 生産実績（最近3年間の生産額、数量、金額、市場占有率など）

7. 本技術と関連があると思われる他社（国内、国外）技術の概要、ならびに本技術との相違点

8. 参考資料リスト（特許、学会論文、総説、解説、カタログ、製品見本など）
（このうち最も主要と思われるもの10点以内を選び、コピー3部を添付すること）
3、4、5の項目のどの部分に関連するかを注記すること。

—つぎ—

40×40=1,600